

ようこそ日本マクロエンジニアリング学会へ

弊学会の	会員のベネフィット	だから
特徴	<p>専門の枠(フレーム)に囚われません</p> <p>監事2名のうち1名が弁護士</p>	<p>お役に立つ具体的テーマは何かお伺いします</p> <p>自然科学のみならず社会科学も守備範囲内です</p>
会員特典	<p>イベント参加費&投稿料が会員は無料</p> <p>学術誌投稿権、総会議決権、理事選挙権、議事録閲覧権、無料メルアド割当、マクロエンジニアリングに関わる情報の配信</p>	<p>会員のニーズを大切にします</p> <p>運営をガバナンスします</p>
外部環境 (追い風)	<p>社会課題解決に学会が寄与することを文科省が推奨</p>	<p>企業の研究者も大歓迎</p> <p>↓</p> <p>メリットになるイベント・テーマは?</p>
会員の 機会 (チャンス)	<p>同一テーマで異なる学部学科出身の会員を演者としてイベントをシリーズ化します</p>	<p>イベント・テーマで学術誌MACRO REVIEWに投稿を大歓迎・募集</p>

目的が大事、
目的は何だっけ?

日本マクロエンジニアリング学会(JAMES)会則

<http://www.jame-society.jp/office/20120218rule.pdf>

抜粋

(目的)

3. 本会は、
巨大事業にともなう問題を巨視的な観点から創造的に研究し、
マクロエンジニアリングという総合的な知識分野を拓くとともに、
それを人類の未来のために応用する活動を行うこと
を目的とし、
その活動を通じて**会員相互の交流と人材の育成**をはかり、
その構想の普及をめざす。
- 対応する事業&職種
→① by研究者
→①②③⑤by研究者
→⑥ byビジネス
→①②③ by両者
→②⑤ by両者

文部科学省&日本学術会議が強く推奨

(事業)

4. 本会は、その目的を達成するために次の事業を行う。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| ① 巨大事業に関する研究・調査の促進、及び助成。 | 具体例
→研究会、年次大会、表彰 |
| ② 研究・調査の発表ならびに 講演会・見学会 などの開催。 | →年次大会・シンポ、ツアー |
| ③ 会報、その他図書などの刊行。 | →MACRO REVIEW、マクロ通信 |
| ⑤ 内外の関連 学会、関係団体等との連帯 ・情報交換。 | →共催等 |
| ⑥ その他、本会の目的達成に必要な事業。 | →NPO法人RIMEPとの連携 |